

勝田孝興略年譜

(調査コラム第20回資料用)

和暦	西暦	満年齢	事項
明治19年	1886	0歳	9月30日、島根県土族勝田孫太郎・フミの長男として松江の南田町に誕生(七男五女の長男)。母フミは三浦周行姉。
明治20年	1887	1歳	
明治21年	1888	2歳	
明治22年	1889	3歳	
明治23年	1890	4歳	
明治24年	1891	5歳	1月、弟民尊誕生
明治25年	1892	6歳	
明治26年	1893	7歳	
明治27年	1894	8歳	
明治28年	1895	9歳	
明治29年	1896	10歳	
明治30年	1897	11歳	
明治31年	1898	12歳	
明治32年	1899	13歳	小学校卒業カ
明治33年	1900	14歳	4月、妹奇鷹子誕生
明治34年	1901	15歳	
明治35年	1902	16歳	1月、妹濟子誕生
明治36年	1903	17歳	3月、松江中学校卒業(第23期)
明治37年	1904	18歳	9月、第五高等学校(熊本)予科第一部入学 11月24日、弟勝年誕生(七男)
明治38年	1905	19歳	
明治39年	1906	20歳	
明治40年	1907	21歳	7月、第五高等学校卒業
明治41年	1908	22歳	9月、東京帝国大学文科大学英文学科入学
明治42年	1909	23歳	
明治43年	1910	24歳	
明治44年	1911	25歳	7月、東京帝国大学文科大学英文学科卒業、卒業論文「沙翁アントニーアンドクレオパトラ研究」 9月、東京帝国大学文科大学大学院進学、研究テーマ「十九世紀ニ於ケル英国文学特ニ脚本及ビ文学ノ研究」
明治45年 大正元年	1912	26歳	7月、修了カ 神奈川県立横須賀中学校教諭
大正2年	1913	27歳	
大正3年	1914	28歳	この頃、千葉県立佐倉中学校教諭
大正4年	1915	29歳	11月、『シェイクスピア物語』(建文館) 11月、「If one」『英語青年』34巻3号
大正5年	1916	30歳	
大正6年	1917	31歳	12月、商船学校教諭
大正7年	1918	32歳	
大正8年	1919	33歳	2月、A guide to colloquial english(口語英語入門) 8・9月、「ハリス作「ター坊」のお話」『英語青年』41巻10・11号
大正9年	1920	34歳	
大正10年	1921	35歳	4・5月、「Negro Dialect[黒人方言]に就て」『英語青年』45巻1～4号 4月、山形高等学校教授 この頃、大澤富士子と結婚
大正11年	1922	36歳	Representative short plays of great contemporary playwrights(偉大な現代劇作家の代表的短編劇), Kobunsha 7～9月、「Irish playsを讀みて」『英語青年』47巻8・10～12号
大正12年	1923	37歳	3月、長女百合子誕生
大正13年	1924	38歳	5月、「乞食(シウトロ作)」『英語研究』17巻2号 8月、「第二のダンカレ夫人(ピネロ作)」『英語研究』17巻5号 9～11月、「石圍ひ家」(ギブスン作)『英語研究』17巻6～8号 9月、『近代英米詩選』(興文社)

大正14年	1925	39歳	2月、『英語聴取、書取、読方、アクセント講話』(大周社) 5月、『ポー傑作集』(南郊社) 5月、長男興洋誕生 6月、『慣用英語熟達自在』(広文堂書店) ★文部省より2年間ヨーロッパ、アメリカへ留学 9月、『ダブリンより』『英語青年』53巻12号
大正15年 昭和元年	1926	40歳	1～8月、「愛蘭土見たり聞いたり」『英語青年』54巻7号～55巻9号(不連続で8回連載) 4月、「Sean O'Caseyの紹介」『英語青年』55巻1号 5月、「Darrell Figgis の死」『英語青年』55巻2号 9月、「イギリスだより」『英語研究』19巻6号 ?月、『重要英語五千字記憶法』(興文社) 12月、「愛国歌一つ」『英語青年』56巻6号
昭和2年	1927	41歳	1月?、「ABBEY座を中心としての最近の愛蘭劇(1925年六月-1926年三月下旬)」『英文学研究』7巻1号 4月、「春」『英語研究』20巻1号 6月、by John Galsworthy, edited with notes Takaoki Katta, The show : a drama in three acts 7月、「愛蘭新劇運動」『英語研究』20巻4号 8月、「愛蘭文学概観」『英語研究』20巻5号 12月、「英語と仏蘭西語」『英語研究』20巻9号
昭和3年	1928	42歳	3月、「取り憑かれた心(ホオソオン)」『英語研究』20巻12号 6月、「乳搾る時(オウフレイアテイ)」『英語研究』21巻3号 7月、「OPQR氏へ(ポイント・オヴ・ヴユウ)」『英語研究』21巻4号 11月、「愛蘭土の新詩(イエツとヒギンズ)」『英語研究』21巻8号 12月、「オー・ケインの最新劇「銀杯」の紹介」『英語研究』21巻9号 「ジューノウと孔雀(オウケイン作)」『世界戯曲全集』第9巻愛蘭劇集(世界戯曲全集会) 9月、『アングロアイリッシュリテラチュア』(廣文堂)
昭和4年	1929	43歳	3月、「愛蘭文学の背景」『イギリス文学』1巻3号 4月、Charles Lamb著、勝田孝興訳註『Tales from Shakespeare: シェクスピア物語』(研究社) 4月、「ディヴィド・カパフィールド(訳註)」『英語研究』22巻1号 5月、「人生の美(モリス作、訳註)」『英語研究』22巻2号 6月、「齒(ベネット作「オールド・ワイヴズ・テイル」から)」『英語研究』22巻3号 8月、「James Joyceの一ペニ」『英語青年』61巻9号
昭和5年	1930	44歳	3月22日、山形高等学校依願免官 4月1日、同志社大学文学部英文学科教授、同志社専門学校英語師範部講師に着任 3月、「燃ゆる落葉(ゴオルズワアジ)」『英語研究』22巻12号 5月、Robert Louis Stevenson著、勝田孝興訳註『宝島』(英文学社) 10月、「偉大な女優(ブロンテ作)」『英語研究』23巻7号 11月、「愛蘭文学の特性に就て」『同志社文学』9号 Representative modern poems of England and America, Kobunsha
昭和6年	1931	45歳	1・2月、「オフラハティの新作に就いて」『英語研究』23巻10・11号 「愛蘭文学の一考察」『英語英文学論文集』第1輯(研究社) 10・11月、「Corkery: "The Threshold of Quiet"」『英語青年』66巻2・3号 9月6日、叔父三浦周行没
昭和7年	1932	46歳	1月、「イエツの新詩集とその一詩」『英語研究』24巻10号 7月、「DANIEL CORKERY論」『英文学研究』12巻3号 8月、「オフラハティの特殊な新作について」『英語研究』25巻5号 11月、「シング」『岩波講座世界文学』第1巻近代作家論(岩波書店) ステイヴンソン著、勝田孝興訳註『ドクタ・デーキル・アンド・ミスタ・ハイド講義』(健文社)
昭和8年	1933	47歳	Great contemporary essays 6月、「ティ・シィ・マレイ概論」『英語研究』26巻3号 9月、「英学壇の人々」『英語研究』26巻9号 10月、「ステイヴンソンの「ウイア・オヴ・ハミストン」」26巻10号 12月、「Irishの発音に就て」『英語青年』70巻6号 12月、『英語英文学講座第7回アングロ・アイリッシュ』(英語英文学講座会) 12月、『Selections from Poe』(創元社)
昭和9年	1934	48歳	5月、『研究社英米文学評伝叢書80 グレゴリ夫人』(研究社)
昭和10年	1935	49歳	3月、「シングの紀行文に用ゐられたる愛蘭語の解説」『英語研究』27巻12号 この年、同志社専門学校英語師範部教授兼部長となる(大学文学部教授兼任)
昭和11年	1936	50歳	4月、スチーヴンソン著、勝田孝興訳註『宝島』(外語研究社)
昭和12年	1937	51歳	2月、「愛蘭文学史の新文献: IRISH LITERATURE AND DRAMA IN THE ENGLISH LANGUAGE: A SHORT HISTORY, STEPHEN GWYNN, London, Thomas Nelson and Sons, Ltd., 1936(批評紹介)」『英文学研究』17巻1号

昭和13年	1938	52歳	2月、「Pearl Buck: The Refugees」『英語青年』78巻9号 5月、「愛蘭の新劇団：DUBLINのGATE THEATRE(雑録)」『英文学研究』18巻2号 7月28日、母フミ没、71歳
昭和14年	1939	53歳	3月、「文学雑談 心の糧」『英語研究』31巻12号 4・5月、「Plomer: Ever Such a Nice Boy」『英語青年』81巻2・3号 4月、「隨筆／先生と生徒との或る対照」『文藝春秋』17巻7号
昭和15年	1940	54歳	『研究社英米文学語学講座55 愛蘭英語と蘇格蘭英語』(研究社)
昭和16年	1941	55歳	
昭和17年	1942	56歳	
昭和18年	1943	57歳	8月、『愛蘭文学史』(生活社)
昭和19年	1944	58歳	9月30日、同志社大学文学部英文学科廃止、教授を退職 9月、滋賀大学客員教授
昭和20年	1945	59歳	敗戦後、松江で島根地区米国軍政部顧問を務める
昭和21年	1946	60歳	
昭和22年	1947	61歳	
昭和23年	1948	62歳	
昭和24年	1949	63歳	
昭和25年	1950	64歳	
昭和26年	1951	65歳	
昭和27年	1952	66歳	4・6・7月、「Studies 現代米語文例拾遺」『時事英語研究』7巻4・6・7号 4月、「Gleanings」『英語青年』98巻4号 7月、「英語々法の研究と実習」『英語研究』41巻7号 12月16日、滋賀大学学芸学部教授
昭和28年	1953	67歳	3・4月、「John Dryden: All for Love」『英語青年』99巻3・4号 7月、「Shakespearの”Macheth”と愛蘭」『英文学研究』28巻3号
昭和29年	1954	68歳	C.& M.Lamb著、勝田孝興訳註『シェイクスピア物語 第2』(研究社出版)
昭和30年	1955	69歳	
昭和31年	1956	70歳	
昭和32年	1957	71歳	
昭和33年	1958	72歳	
昭和34年	1959	73歳	3月31日、滋賀大学学芸学部教授を退職 4月以降、大阪工業大学工学部一般教育科教授(大阪工業大学『職員録』掲載)
昭和35年	1960	74歳	
昭和36年	1961	75歳	大阪工業大学工学部一般教育科客員教授(昭和36～50年)
昭和37年	1962	76歳	
昭和38年	1963	77歳	
昭和39年	1964	78歳	
昭和40年	1965	79歳	
昭和41年	1966	80歳	
昭和42年	1967	81歳	
昭和43年	1968	82歳	
昭和44年	1969	83歳	
昭和45年	1970	84歳	
昭和46年	1971	85歳	
昭和47年	1972	86歳	3月、シング著、勝田孝興解説注釈『アラン群島周遊記』(研究社)
昭和48年	1973	87歳	
昭和49年	1974	88歳	
昭和50年	1975	89歳	
昭和51年	1976		5月23日、脳血栓で死去、89歳 10月、青井末治「勝田孝興先生を憶う」『英語青年』122巻7号 12月、青井末治「故勝田孝興先生を思う」『L.L.L.』No.71 以上